

# 2019 会 告 No.3



上記QRコードより会告のPDF版を閲覧できます。

◇通知・案内事項

- 化学工学会第84年会 参加募集…………… 本号4ページ
- 平成31年度化学工学会賞候補者の推薦について…………… 本号8ページ

◇本部・支部大会行事の開催予定

- |   |  |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>◇年会</li> <li>◇秋季大会</li> <li>◇支部大会</li> <li>◇学生発表会(東地区)</li> <li style="padding-left: 20px;">(西地区)</li> </ul> | <p style="text-align: center;">(2019)</p> <p>3/13～15(芝浦工業大学)<br/>                     秋季大会は開催しません<sup>※</sup><br/>                     8/8～9(横浜国立大学)<br/>                     3/2(東京理科大学)<br/>                     3/2(京都大学)</p> |
|---|--|

注)APCCHE2019(2019年9月23日～27日 場所 札幌)開催のため

◇本部・各支部・部会行事 (「ゴシック」は新規掲載分および修正分)

行事プログラムの掲載は1回限りです。既載行事はカレンダー会告ページ(または各支部ホームページ)をご参照下さい。

開催年月日	行 事	申込締切	会 告 ページ
<b>3月 March</b>			
1	第20回プラント保全研究会(広島県)		1号8
1	化学装置材料部会 公開講演(東京都)		2号9
2	第21回化学工学会学生発表会東京大会(東京都)		2号7
2	第21回化学工学会学生発表会京都大会(京都府)		2号7
4	第16回キンカ高分子化学研修コース(大阪府)		12号9
11	第7回 若手研究者・技術者を対象とした工場見学および交流会(神奈川県)		2号9
12	第18回反好会(反応工学部会若手会)講演会(東京都)	3月5日(火)	本号9
13	平成30年度粒子・流体プロセス部会 総会・部会セミナー(東京都)		2号9
13	2018年度インターンシップ報告会(東京都)		2号8
13～15	化学工学会第84年会(東京都)		本号4
15	第20回気液固分散工学サロン(東京都)		2号10
26～28	第19回化学工学基礎講習会(初習者対象)(山口県)	3月8日(金)	2号11
29	第62回プロセス設計技術講演会・見学会(宮城県)	3月22日(金)	本号10
<b>4月 April</b>			
11	2019年度第1回グローバルテクノロジー委員会(愛知県)	4月5日(金)	本号9
18	SCE・Net第118回技術懇談会(総会記念講演)(東京都)	4月6日(土)	本号9
19	中国地区化学工学懇話会 平成31年度総会・記念講演会(広島県)	4月5日(金)	本号11
<b>5月 May</b>			
13～14	第26回化学安全講習会(大阪府)	4月24日(水)	本号11
17	分離プロセス部会第13回講演会及び見学会(群馬県)	4月26日(金)	本号9
22～24	第43回基礎化学工学演習講座 第1クール(愛知県)		本号10
29～31	第43回基礎化学工学演習講座 第2クール(愛知県)		本号10
<b>6月 June</b>			
19～21	第43回基礎化学工学演習講座 第3クール(愛知県)		本号10
<b>7月 July</b>			
3～5	第43回基礎化学工学演習講座 第4クール(愛知県)		本号10
13	第56回化学関連支部合同九州大会・外国人研究者交流国際シンポジウム(福岡県)	4月12日(金)	本号12
17～19	第43回基礎化学工学演習講座 第5クール(愛知県)		本号10

会 告

◇国際交流行事

会 期	行 事 名	申込締切	会告ページ
9月23～27日(月～金)	第18回アジア太平洋化学工学連合会議 APCChE 2019(北海道)		本号7
10月20～23日(日～水)	IMPRES2019 (The Fifth International Symposium on Innovative Materials and Processes in Energy Systems)(石川県)		1号6

◇共 催・協 賛 行 事(本カレンダーのみのご案内です。詳細は各問合せ先へ直接ご照会下さい。「ゴシック」は新規掲載分)

行 事(場 所)	開催期日	問合せ先	電話番号(FAX) E-mail, URL
国際周期表年2019 記念事業(東京都)	2月23日～ 12月5日(土～木)	国際周期表年実行 委員会	info@iypt.jp <a href="http://iypt.jp">http://iypt.jp</a>
非平衡系セミナー 「コロイド工学における学理と課題解決の方法」(東京都)	3月1日(金)	プロダクト・イノ ベーション協会	seminar@product-innovation.or.jp <a href="http://www.product-innovation.or.jp/info/pia_seminar20190301/">http://www.product-innovation.or.jp/info/pia_seminar20190301/</a>
第3回「エネルギー学」部会シンポジウム AI/ICT/IoT 関連技術のエネルギー分野への応用(東京都)	3月1日(金)	日本エネルギー学 会 「エネルギー 学」部会	03-3834-6456 (03-3834-6458) tsunasawa_jie1921@jie.or.jp <a href="https://www.jie.or.jp/publics/index/660/">https://www.jie.or.jp/publics/index/660/</a>
第69回医用高分子研究会～10年後の医用高分子～ (東京都)	3月1日(金)	高分子学会 医用高 分子研究会	03-5540-3771 (03-5540-3737) y-tanaka@spsj.or.jp <a href="http://main.spsj.or.jp/eventapplication.php">http://main.spsj.or.jp/eventapplication.php</a>
第10回日本複合材料会議(JCCM-10)(東京都)	3月6～8日(水～金)	日本複合材料学 会, 日本材料学会	03-5981-6011 (03-5981-6012) jscm@asas.or.jp <a href="http://www.jscm.gr.jp">http://www.jscm.gr.jp</a>
第53回日本水環境学会年会(山梨県)	3月7～9日(木～土)	日本水環境学会	<a href="http://www.jswe.or.jp/event/lectures/2018per.html">http://www.jswe.or.jp/event/lectures/2018per.html</a>
自然と共生するスマートエコアイランド種子島シンポジ ウム～宇宙の島・種子島から持続可能な地域への挑戦～ (鹿児島県)	3月9日(土)	西之表市	0997-22-1111
18-1 高分子と水・分離に関する研究会 2018年度界面動電現象研究会 水・高分子界面の移動現象から俯瞰する生物資源と 環境のコロイド工学(東京都)	3月11日(月)	高分子学会	03-5540-3771 (03-5540-3737) <a href="http://main.spsj.or.jp/eventapplication.php">http://main.spsj.or.jp/eventapplication.php</a>
第33回エレクトロニクス実装学会 春季講演大会(東京都)	3月11～13日 (月～水)	エレクトロニクス 実装学会	03-5310-2010 taikai33@jiep.or.jp
生産システム部門研究発表講演会2019(神奈川県)	3月12日(火)	日本機械学会	03-5360-3503 (03-5360-3508) fujita@jsme.or.jp <a href="https://www.sasj2.net/MAS/jsmemsd/welcome">https://www.sasj2.net/MAS/jsmemsd/welcome</a>
第64回プラスチックフィルム研究会講座 『電池用フィルム材料』(東京都)	3月12日(火)	高分子学会 プラス チックフィルム研 究会	03-5540-3771 (03-5540-3737) y-tanaka@spsj.or.jp <a href="http://main.spsj.or.jp/eventapplication.php">http://main.spsj.or.jp/eventapplication.php</a>
平成30年度環境研究総合推進費研究成果発表会(東京都)	3月14日(木)	独立行政法人環境 再生保全機構	03-3237-6600 erca-suishinhi@erca.go.jp <a href="http://www.erca.go.jp/suishinhi/">http://www.erca.go.jp/suishinhi/</a>
第11回先進プラズマ科学と窒化物及びナノ材料への応用 に関する国際シンポジウム/第12回プラズマナノ科学技 術国際会議 ISPlasma2019/IC-PLANTS2019(愛知県)	3月17～21日 (日～木)	応用物理学会	052-581-3241 (052-581-5585) isplasma2019@intergroup.co.jp <a href="http://www.isplasma.jp/">http://www.isplasma.jp/</a>
第19回成形加工実践講座シリーズ(押出・混練編) 二軸押出機による混合・混練の基礎(東京都)	3月19日(火)	プラスチック成形 加工学会	03-5436-3822 (03-3779-9698) kikaku-event@jspp.or.jp <a href="http://www.jspp.or.jp">http://www.jspp.or.jp</a>

第123回触媒討論会 特別シンポジウム(大阪府)	3月21日(木)	触媒学会	03-3291-8224 (03-3291-8225) secretariat@shokubai.org <a href="http://www.shokubai.org/general/kaikoku/190321sympo.pdf">http://www.shokubai.org/general/kaikoku/190321sympo.pdf</a>
No.19-9 第53回空気調和・冷凍連合講演会(東京都)	4月17～19日 (水～金)	日本機械学会, 空気調和・衛生工学会, 日本冷凍空調学会	03-5360-3506 (03-5360-3509) endo@jsme.or.jp
2019 International Conference on Electronics Packaging (ICEP2019)(新潟県)	4月17～20日 (水～土)	エレクトロニクス実装学会	03-5310-2010 (03-5310-2011) icep2019@jiep.or.jp <a href="http://www.jiep.or.jp/icep/">http://www.jiep.or.jp/icep/</a>
第36回空気清浄とコンタミネーションコントロール研究大会(東京都)	4月23～24日 (火～水)	日本空気清浄協会	03-3665-5591 (03-3665-5593) jaca@jaca-1963.or.jp <a href="http://www.jaca-1963.or.jp/">http://www.jaca-1963.or.jp/</a>
混相流レクチャーシリーズ44 格子ボルツマン法による数値流体力学シミュレーション～基礎から応用まで～(東京都)	5月10日(金)	日本混相流学会	029-861-8232 (029-861-7842) naoki-takada@aist.go.jp
第65回理論応用力学講演会(北海道)	5月17～19日 (金～日)	日本学術会議	03-3355-3559 (03-5379-2769) hashimoto@jsce.or.jp
第4回マルチスケール材料力学シンポジウム(北海道)	5月24日(金)	日本材料学会	075-761-5321 (075-761-5325) jimu@jsms.jp <a href="http://www.jsms.jp">http://www.jsms.jp</a>
第24回計算工学講演会(埼玉県)	5月29～31日 (水～金)	日本計算工学会	03-3868-8957 (03-3868-8957) office@jscs.org <a href="http://www.jscs.org/koenkai/24">http://www.jscs.org/koenkai/24</a>
第56回日本伝熱シンポジウム(徳島県)	5月29～31日 (水～金)	日本伝熱学会	089-927-9724 (089-927-9724) symp2019@htsj-conf.org <a href="http://www.htsj-conf.org/symp2019/index.html">http://www.htsj-conf.org/symp2019/index.html</a>
世界水素技術会議2019(東京都)	6月2～7日(日～金)	水素エネルギー協会	029-861-8712 (029-861-8712) org@whtc2019.jp <a href="http://whtc2019.jp">http://whtc2019.jp</a>
No.19-206 環境工学国際ワークショップ2019(沖縄県)	6月25～28日 (火～金)	日本機械学会	03-5360-3506 (03-5360-3509) env-symp2019_admin@jsme.or.jp <a href="http://www.jsme.or.jp/env/iwee/2019/">http://www.jsme.or.jp/env/iwee/2019/</a>
No.19-4 第29回環境工学総合シンポジウム2019(沖縄県)	6月25～28日 (火～金)	日本機械学会	03-5360-3506 (03-5360-3509) env-symp2019_admin@jsme.or.jp <a href="http://www.jsme.or.jp/env/sec/2019/">http://www.jsme.or.jp/env/sec/2019/</a>
第48回医用高分子シンポジウム(東京都)	7月1～2日(月～火)	高分子学会 医用高分子研究会	03-5540-3771 (03-5540-3737) y-tanaka@spsj.or.jp <a href="https://member.spsj.or.jp/event/">https://member.spsj.or.jp/event/</a>
第3回アジア赤外線サーモグラフィコンファレンス(東京都)	7月1～5日(月～金)	日本非破壊検査協会	03-5609-4011 sec@qirtasia2019.com <a href="https://qirtasia2019.com/">https://qirtasia2019.com/</a>
第56回アイソトープ・放射線研究発表会(東京都)	7月3～5日(水～金)	日本アイソトープ協会	03-5395-8081 (03-5395-8053) gakujutsu@jrias.or.jp <a href="https://www.jrias.or.jp/">https://www.jrias.or.jp/</a>
安全工学シンポジウム2019(東京都)	7月3～5日(水～金)	日本学術会議 総合工学委員会	03-3262-6605 anzen@gakkai-web.net



## 企画紹介

講演日時や会場等の詳細については、大会Webサイトをご覧ください。

### 学会賞等受賞記念講演

#### ◇学会賞

Z105(3月13日(水)10:40～11:20)

【池田亀三郎記念賞】

両親媒性分子を基体とした生物化学工学における新分野開拓

(九州大学)後藤雅宏氏

Z106(3月13日(水)11:20～12:00)

【池田亀三郎記念賞】

環境調和型化学技術を指向した反応工学研究

(京都大学)前 一廣氏

#### ◇研究賞

G213(3月14日(木)13:00～13:20)

【實吉雅郎記念賞】

医薬・医療応用のための細胞・組織工学技術の開発に関する研究

(九州大学)上平正道氏

G214(3月14日(木)13:20～13:40)

【玉置明善記念賞】

生体触媒を利用した生体分子工学に関する研究

(九州大学)神谷典徳氏

#### ◇研究奨励賞

G215(3月14日(木)13:40～14:00)

【玉置明善記念賞】

粒子形状による生体との相互作用制御を志向した新規医用微粒子の開発

(東京大学)太田誠一氏

F113(3月13日(水)13:00～13:20)

【内藤雅喜記念賞】

逆浸透膜におけるバイオフィウリングの動的挙動の評価と抑制方法の確立

(信州大学)佐伯大輔氏

G204(3月14日(木)10:00～10:20)

【實吉雅郎記念賞】

Cubosomalゲルの作製・評価方法の開発とその応用に関する研究

(大阪大学)菅 恵嗣氏

G207(3月14日(木)11:00～11:20)

【玉置明善記念賞】

有機燃料で駆動する触媒粒子マイクロモーターの研究

(同志社大学)山本大吾氏

#### ◇技術賞

A213(3月14日(木)13:05～13:25)

高性能ハニカムロータ搭載HP低温排熱再生省エネ低露点除湿機の開発

((株)西部技研)金 偉力氏・井上宏志氏・江島寛明氏・島田隆寛氏・岡野浩志氏

#### ◇女性賞

I214(3月14日(木)13:20～13:40)

女性ならではの視点を生かしたマイクロリアクタシステムの開発

((株)日立製作所)浅野由花子氏

I213(3月14日(木)13:00～13:20)

多様性、時々エンタール

(JXTGエネルギー(株))大野真美氏

### 特別企画シンポジウム

#### ◇デジタルで拓く次世代プラント

日時 3月14日(木)13:40～17:40

会場 Z会場

IoT, AI, ビッグデータ, センサー等デジタル技術が急速に進展し、化学工学関係では、工場・プラント等に係る計画・設計・建設・運転・監視・保守の姿が大きく変わることが予想されています。では、どう変わるか、様々な見方があります。このような状況の中、政策の動向や、最新技術動向に関する基調講演に加え、プラントのEPC全体、O&M、制御等の切り口から実例を交えての講演や討論を行いたいと考えていますので、奮ってご参加ください。

### 第4回化学工学ビジョンシンポジウム

#### ◇未来のあるべき化学工場

日時 3月15日(金)12:55～16:00

会場 Z会場

少子高齢化が進む日本においては、現場で働く人の確保と技術継承は大きな課題になりつつあります。SDGs検討委員会では、SDGsの目標5(ジェンダーの平等と女性のエンパワーメント)と目標8(すべての人々の働きがいのある人間らしい雇用)に着目し、2回にわたり、女性を含む化学工場の現場で働く方々、学生、大学教員が集まり、「日本の化学産業の未来の工場について語る会」を開催してきました。ここでの議論をふまえ、未来のあるべき化学工場の姿とその実現のための課題、そして持続可能な産業化とイノベーションの拡大という目標9を通した化学工学の果たす役割を議論します。

### 産業セッション

日時 3月14日(木)9:00～15日(金)17:30

#### ◆口頭セッション

#### ◇日本の産業を支える技術イノベーション

日時 3月14日(木)9:00～12:00

会場 A会場

化学産業や日本産業が発展するための、新しい技術、牽引する技術および新たな考え方・取り組みに焦点を当て具体事例を紹介します。

#### ◇循環型社会を目指す開発型企業の取り組み

日時 3月14日(木)13:40～17:20

会場 A会場

技術をコアに事業展開を図っている開発型企業が、これからのグローバルな競争環境の中で生き残りを図って行くためには、大学等の研究機関との共同研究が重要なポイントとなります。さらに、社会の要請としての資源循環型社会の実現が重要なテーマとなってきています。今回はそれらの研究テーマの中から、実績が上っているテーマを紹介します。

#### ◇化学関連産業の経営課題 化学関連産業は

SDGsにどう取り組むか 一経営者の視点から

日時 3月14日(木)13:40～17:30

会場 B会場

2015年9月に国連で採択されたSDGs(持続可能な開発目標)は、2030年をゴールに17の目標、169のターゲットが定められ、わが国でも日本経済団体連合会がSociety 5.0と結びつけた企業行動憲章の改定を行うなど、関心が高まっています。また化学工業界でも、日本化学工業協会が2017年5月に「化学産業がSDGsにいかに関与できるか」をまとめたビジョンを公表し、化学関連各社でもそれぞれにビジョンを公表したりする動きが始まっております。しかし、現状では経営層レベルのポリシーに留まっている印象も強く、機関投資家からのIR的視点がクローズアップされる傾向が強いと言えるのではないでしょ

うか。SDGsには、環境、安全、エネルギー、健康など化学産業と極めて密接に結びついたテーマが多く、この活動に最も貢献できる産業分野であるということもできるものと考えます。またIoT, AI, ビッグデータ等新しいテクノロジーは、この実現に向けて大きな役割を果たすことにもなるでしょう。今回は、化学関連企業の中長期的な経営課題としてSDGsへの取り組みの重要性に対する認識を深め、化学工学が貢献できる可能性を具体的に議論したいと考えます。

#### ◇脱炭素化に向けた化学関連産業の挑戦

日時 3月15日(金)9:20～12:00

会場 A会場

パリ協定合意を契機として、温室効果ガスの排出量ゼロを目指す脱炭素化が世界的な潮流となっています。本セッションでは、非枯渇資源化、再生可能炭素資源の増大へ向けた戦略的な取り組みを紹介し、2050年に向けた次世代エネルギー政策の道筋を考えます。

#### ◇忘れてはいけない単位操作 ー (実用粉体ハンドリング技術)ー

日時 3月15日(金)13:00～15:40

会場 A会場

化学工場のプロセスは、基本的な単位操作の組み合わせです。しかし、現実のプロセスでは教科書に載っている単位操作概論では対応できない事象が数多くあります。そのような中で、各社の対応例や最新技術を紹介していただきます。今回のテーマは「実用粉体ハンドリング技術」です。

#### ◇未来社会を見据えた現場力向上のための新技術の活用と人材育成

日時 3月15日(金)10:35～15:40

会場 B会場

化学工学が担う「ものづくり現場」では、「現場の課題を解決できる実学を身につけた人材育成」が急務となっています。プラント運転や工場の設備設計、設備メンテナンス、安全確保や保全活動の観点から、化学プロセスや設備全体を把握して、新技術に着目して活用し、改善に結びつける技術者、管理者の育成が急務となっています。また熟練技術者の「経験知の活用」や「技術・知識の伝承」も課題となっています。本セッションでは、これらの課題解決のヒントとなる、各社における対応事例や実績を紹介いたします。

#### ◇海外留学生と企業との就職に関する交流会

日時 3月14日(木)9:00～12:30

会場 K, L会場

現在、国の指導の下、各大学は積極的に海外留学生を受け入れております。化学工学分野の学部・学科も数多くの留学生を迎えております。一方、この有為な人材の国内企業での活用については、次のような課題があります。

日本企業に就職を希望する海外留学生サイドの課題として、国内の日本企業の情報や就職活動に関する情報が殆どない非常に少ない。大学サイドの課題として、日本企業への就職について、サポートが十分でない。企業サイドも、海外留学生を採用したいけれども、彼らへのアプローチ方法やコミュニケーション等で悩んでいる。

従って、上記の課題に対応する目的で、化学工学会の年会で、就職を希望する海外留学生と企業とのコミュニケーションの場を、学会が主催して、設定することとしました。

#### ◆ポスターセッション

#### ◇忘れてはいけない単位操作 ー (実用粉体ハンドリング技術)ー

◇未来社会を見据えた現場力向上のための新技術の活用と人材育成  
 日時 3月15日(金)16:00～17:30  
 会場 R会場

国際シンポジウム

◇第9回日中化工シンポジウム  
 日時 3月14日(木)13:00～15日(金)17:10

ー化学プロセスAI・IoT化と安全ー  
 日時 3月14日(木)13:00～17:00  
 会場 J会場  
 プロセス安全についてAIやIoTの視点も入れ、意見交換します。

ー環境ー  
 日時 3月15日(金)9:00～11:50  
 会場 J会場

本セッションでは、日本と中国における化学工学的的手法を用いた環境保全や持続可能性向上に関する研究・技術開発についての現状と今後の展開について議論します。今回のセッションでは、水処理、廃棄物処理、二酸化炭素吸収プロセスにおける最新技術について講演していただきます。

ー生物化学工学ー  
 日時 3月15日(金)13:00～15:50  
 会場 J会場

日中双方の生物化学工学研究の最前線を紹介し、両国の同分野の研究者の交流を深めます。

ーポスターセッションー  
 日時 3月15日(金)16:00～17:10  
 会場 K会場

本セッションでは、日本と中国における生物化学工学と化学工学的的手法を用いた環境保全に関する最新技術について発表します。

戦略推進センター

次世代エネルギー社会検討委員会企画  
**「産業界の炭素循環・固定化技術による脱炭素化と温室効果ガス80%削減への挑戦」**

日時 3月13日(水)13:10～16:50  
 会場 A会場

地球温暖化対策の2050年のGHG80%削減目標に対し、空調・給湯需要が多い民生家庭業務や長距離を除く輸送部門については電化や水素など技術的な見通しは立っていますが、1/3を排出する産業界では依然として達成は不透明です。本シンポジウムでは炭素の循環フローの確立と地中貯留以外の固定化による排出削減も視野に入れ、特に炭素が材料やプロセスに深く関わる産業にとっての脱炭素化へのヒントを探ってみたいと思います。

戦略推進センター 社会実装学研究会企画  
**「社会実装学研究会」  
 ～社会実装への化学工学の挑戦」**

日時 3月14日(木)9:00～17:00  
 会場 C会場

化学工業と関わる膨大な研究開発の成果は、要素技術として多かれ少なかれ産業へと実装されてきました。近年、第四の産業革命を目指す動きが世界的に見られる中、より俯瞰的な視点をもって新たなイニシアティブを立ち上げるの

は化学工学者であると信じます。急激な社会の変化は、より複雑な要請を科学技術に求めます。製造と関わる課題は多元的かつマルチスケールとなり、製品に求められる価値、機能、品質は個別のかつ曖昧です。技術の善し悪しの判断を単視眼的に下すことの意義は薄れ、それを享受する社会や個人の特性を見て決めることの重要性が増してくるでしょう。本シンポジウムでは、「社会実装学」という、「技術を社会に実装するための新しい学問領域」を化学工学に加えるための議論を行います。一般講演を広く募集し、技術を社会に実装するためのヒントとなる研究成果、事例、コンセプトの発表の場を設けます。

人材育成センター企画  
**「2018年度インターンシップ報告会」**

日時 3月13日(水)15:00～16:50  
 会場 I会場

2018年度インターンシップ参加学生、企業担当者、指導教員が集まり、意見交換、情報交換の場としてインターンシップ報告会を開催します。生の声が聞けますので、インターンシップ受入れを考えている企業担当者など、今年度の関係者以外の参加も歓迎します。

男女共同参画委員会企画  
**「女性技術者フォーラム」**

日時 3月14日(木)13:00～16:20  
 会場 I会場

化学工学関連分野で優れた技術や研究業績をあげた女性に贈る女性賞の受賞講演に引き続き、今回は、「機能性材料の合成と未来化学プロセス」をテーマとして当該分野で活躍する女性研究者および技術者による招待・依頼講演を行います。フォーラムを通じて女性の技術者、研究者、学生の皆さんの交流の場を提供するとともに、キャリア形成について参考としていただくことを目指します。

福島復興・廃炉技術研究会企画  
**「福島復興と廃炉技術の現状と課題」**

日時 3月15日(金)9:00～11:20  
 会場 Z会場

福島復興に向けて、福島第1原子力発電所の廃炉とオフサイトにおける除染が進められています。廃炉の技術開発の現状とオフサイト除染の進捗状況を概観するとともに、技術的課題についての講演を聴講し、化学工学者が貢献可能な技術について議論を行います。

**「若手研究者が考える未来の化学工学研究」**

日時 3月15日(金)13:00～16:00  
 会場 Q会場

化学工学を取り巻く環境は、様々な観点から大きく変化しつつあります。それは産業・学術的なことのみならず、研究者と学会との関わり方ということをも含むかもしれません。手法の学問である化学工学が貢献できる対象分野は益々広がると考えて間違いないと思いますが、化学工学に新しい考え方をフィードバックすることも忘れるべきではありません。様々な分野における先進的な学術アプローチを横断的に俯

瞰し、未来の化学工学研究を更なる高みへと発展させる糸口をつかめないでしょうか。本シンポジウムでは全国で活躍する若手化学工学技術者・研究者が参集し、発表者・聴講者間での双方向の意見交換を通じて未来のホットトピックを探ります。さらに、将来に向けた人脈づくりの場を提供します。

異分野合同セッション

◇化学工学会のプレゼンス向上のために  
 ー調理科学ならびに食品工学との協力を目標としてー  
 日時 3月13日(水)13:00～16:20  
 会場 Z会場

異分野との融合を図り、化学工学会の裾野を広げ、引いては本学会のプレゼンスの向上に繋がるよう、今回は調理科学ならびに食品工学とのコラボレーションを模索します。

**「粒子・流体プロセス部会セミナー」**

日時 3月13日(水)13:30～17:40  
 会場 T会場

粒子・流体プロセス部会のセッションとして、特別講演ならびに部会賞受賞記念講演を行います。

参加登録方法

大会に参加いただくためには参加登録が必要です。事前参加登録は終了しております。事前参加登録されていない方は当日参加登録をお願いします。

◇当日参加登録における年会費納入、会員資格の確認

受付にて年会費納入の確認をさせていただきます。年会費が納められていない場合、その場で未納分をお支払いいただき会員資格相当の大会参加費をお支払いいただくか、会員外参加費をお支払いいただくこととなります。

法人会員の方も同様に、受付にて法人会員資格の確認をさせていただきます。

会費未納の方が年会費を納めてから入金確認されるまで、約二週間かかります。当日までに入金が確認されないおそれがある場合は、年会費納付時の受領証を受付にて提示願います。

会員資格ならびに入会手続きに関するお問い合わせは、化学工学会本部(<http://www.scej.org/>)をお願いします。

◇参加登録後のキャンセル(返金)について  
 一度ご入金いただきますと、理由の如何を問わず返金はできません。予めご了承ください。

◇講演要旨集について  
 講演要旨集はUSBメモリとして販売いたします(大会参加者に対する価格:3,240円/個)。大会参加費には含まれておりませんので、ご注意ください。

ご購入は事前参加登録時にお申込みいただき現地で引換券と引き換えていただくか、あるいは現地で販売いたします。事前参加登録時にお申込みいただいたものの、現地で引き換えいただけなかった方は、後述する問い合わせ先まで大会終了後にご連絡ください。別途郵送いたします。講演要旨集USBメモリの数には限り

があります。

なお、講演要旨集は、講演要旨集USBメモリの購入有無に関わらず本大会に参加登録された方皆さん、大会終了から3か月後にWebからダウンロード(無料：ディスクイメージファイル)いただけます。

大会に参加されず講演要旨集のみご購入を希望される場合は、本会会員は11,880円(税込・送料込)、本会非会員は22,680円(税込・送料込)で販売しております。お申込みは随時大会Webより承りますが、現物の発送は大会終了後になります。

◇その他詳細について

大会Webサイトをご確認ください。

問合せ先

◇事前参加登録およびお支払方法に関するお問合せ

京王観光(株)東京中央支店  
〒160-0022  
東京都新宿区新宿2-3-10 新宿御苑ビル2階  
(担当者：国分智史、池田栞)  
TEL：03-5312-6540 FAX：03-5379-0740  
E-mail：scej.kta-tyo@keio-kanko.co.jp  
営業時間 平日9:00～18:00(土・日・祝日は休業)

◇その他に関するお問合せ

化学工学会 第84年会実行委員会  
E-mail：inquiry-84a@www3.scej.org

参加費

大会参加費にはプログラム集(冊子：当日会場にてお渡しします)が含まれていますが、講演要旨集(USBメモリ)は含まれていません。ご注意ください。

大会参加費

会員資格	大会		懇親会	
	当日	備考	当日	備考
<b>化学工学会個人会員の方</b>				
正会員	12,000円	不課税	7,000円	課税税込
シニア会員	8,000円		5,000円	
永年会員	7,000円		5,000円	
教育会員	7,000円		7,000円	
学生会員	7,000円		5,000円	
海外正会員	12,000円		7,000円	
海外連携会員	12,000円		7,000円	
海外学生会員	7,000円		5,000円	
<b>化学工学会法人会員に属する方・部に属する方等</b>				
法人会員(*1)に属する社員	15,000円	不課税	7,000円	課税税込
懇話会会員	15,000円		7,000円	
部会個人賛助会員	15,000円		7,000円	
部会法人賛助会員に属する社員	15,000円		7,000円	
トライアル会員	12,000円	課税税込	7,000円	
(*1)維持会員、特別会員、特別地区会員				
<b>他学会の個人会員の方等</b>				
共催学会の個人会員	15,000円	課税税込	7,000円	課税税込
*2に記す海外学会の個人会員(学生を除く)	12,000円		7,000円	
*2に記す海外学会の個人会員(学生)	7,000円		5,000円	
(*2)AIChE：米国化学工学会, CIESC：中国化工学会, DECHEMA：ドイツ化学工学バイオ学会, KICHe：韓国化学工学会, TwiChE：台湾化学工程學會(略称アルファベット順)				
<b>上記以外の方</b>				
会員外	30,000円	課税税込	7,000円	課税税込

講演要旨集(USBメモリ)

会員資格	事前参加登録時同時購入 大会当日購入	大会終了後別途購入
本会会員 (個人/法人/部会個人・法人賛助/ トライアル会員)	3,240円/個(税込)	11,880円(税込・送料込)
本会非会員		22,680円(税込・送料込)

## 平成31年度化学工学会賞候補者の推薦について

推薦締切 学会賞・研究賞・研究奨励賞・技術賞・技術奨励賞・女性賞・フェロー表彰：平成31年5月15日  
功労賞：平成31年8月31日

平成31年度化学工学会賞(学会賞・研究賞・研究奨励賞・技術賞・技術奨励賞・功労賞・女性賞・フェロー表彰)の受賞候補者を会員各位より、下記募集要項をご留意の上ご推薦いただきたく存じます。

(アジア国際賞は、推薦締切が2月15日となり、webサイトにて推薦ご依頼申し上げます。)

なお、推薦方法の詳細及び推薦書はWebサイト(<http://www.scej.org/award/apply.html>)をご参照ください。

### 募集要領

#### 1. 対象となる業績と候補者の資格

##### A. 学会賞

本会正会員であって、化学工学に関する優れた研究を行い、学術上特に大局的に顕著な業績のあった個人。(ただし、過去に研究賞を受賞した者は受賞してから満5年を経過しないと推薦を受けることはできない。)

##### B. 研究賞

本会正会員が行った化学工学に関する新規性に富む優れた研究、もしくは特に完成度の高い優れた研究で、学術論文誌に発表されたもの。ただし、本会誌掲載論文があることが必要。受賞者は個人もしくは3名以内の共同研究者。

##### C. 研究奨励賞

推薦締切時において満35歳未満の本会正会員であって、化学工学に関する優れた独創性・萌芽的研究を学術論文誌(本会誌に限らない)またはproceedingsに発表した個人。共同研究の場合は主な研究者1名に適用。

##### D. 技術賞

本会正会員あるいは本会維持会員または特別会員である法人に所属する技術者であって、化学工学に関する技術または化学関連産業の技術に関して特に業績のあった個人もしくは5名以内の共同研究・開発者。

##### E. 技術奨励賞

推薦締切時において満38歳以下の本会正会員であって、化学工学または関連産業に関わる主として技術上の優れた業績をあげ、学術論文誌、特許、技報などで対外に発表した個人、または本会の年会・秋季大会・支部大会等で発表した個人。共同研究の場合は主な研究者1名に適用。

##### F. 功労賞

###### ①教育功労賞

本会正会員に限らず、化学工学およびそれに関連する基礎教育に従事し、教育上顕著な業績または功績のあった個人。本賞は、高校、工業高校、高専、および大学関係者等個人を対象とするが同一業績について3名以内の連名で受賞することができる。

###### ②研究功労賞

本会正会員に限らず、化学工業技術に関連する業務に当たり、装置、器具の開発・改良、特殊技能およびデータの取得・整理などを通

して、研究支援に貢献のあった個人。本賞は、高専、大学、および企業関係者等個人を対象とするが、同一業績について3名以内の連名で受賞することができる。

###### ③学会活動功労賞

本会正会員、または本部、支部の職員(元職員、嘱託に準ずる者を含む)であって、支部、地区懇話会、あるいは本部の諸委員会での活動、会員増強などの学会活動を通じて、本会の発展に貢献のあった個人。

###### ④国際功労賞

本会正会員に限らず、化学工学関係の国際会議等の運営及び海外関連学協会との交流・運営に貢献を行った個人。

##### G. 女性賞

化学工学または化学関連産業に関わる技術上の優れた業績をあげた、あるいは化学工学に関する優れた研究を行い、かつ男女共同参画推進のための制度や環境の整備に貢献した個人。

##### H. フェロー表彰

推薦時に化学工学に20年間以上関わっている正会員である者、あるいは10年以上本会に在籍する正会員(学生会員期間は除く)、および会長が推薦するもので、化学工学ならびに本会の発展に貢献し、今後も寄与する個人。

#### 2. 表彰の件数

A. 学会賞	2件以内
B. 研究賞	3件以内
C. 研究奨励賞	5件以内
D. 技術賞	5件以内
E. 技術奨励賞	5件以内
F. 教育・研究・学会活動・国際功労賞	各2件以内
G. 女性賞	2件以内

#### 3. 表彰の内容

A. 学会賞	賞状及び池田賞
B. 研究賞	賞状とメダル
C. 研究奨励賞	賞状とメダル
D. 技術賞	個人に賞状とメダル、代表者の属する法人に記念牌
E. 技術奨励賞	賞状とメダル
F. 功労賞	賞状と記念品
G. 女性賞	賞状と記念品

H. フェロー表彰 化学工学会フェローの称号

4. 表彰は、平成32年開催の本会表彰式において行う。

#### 5. 推薦

(1)学会賞・研究賞・研究奨励賞は、正会員の推薦による。推薦件数は、各賞につき正会員は1名あたり1件とする。技術賞は、維持会員、特別会員、支部長、部会長または地区懇話会長の推薦による。推薦件数は、法人会員は1件、支部長及び部会長は2件以内、懇話会長は1件とする。技術奨励賞は、維持会員、特別会員、支部長または部会長の推薦による。推薦件数は、法人会員は1件、支部長及び部会長は2件以内とする。女性賞は、維持会員、特別会員、正会員の推薦による。推薦件数は、各会員1件とする。フェロー表彰は、会長、維持会員、支部長、部会長、名誉会員または正会員の推薦による。なお、正会員は3名以上の連名による推薦とする。

(2)本会で定めた推薦方法に従い、本人の了解を得た後、所定の書式による推薦書一式(電子ファイル)をWebサイト(<http://www.scej.org/award/apply.html>)内の推薦要項に従い、本会宛に5月15日までにアップロードして提出してください。

(3)推薦された候補者は、6月末日までに、所定の書式による選考資料一式(電子ファイル)をWebサイト(<http://www.scej.org/award/apply.html>)内の推薦要項に示されている手順に従い、6月30日までにアップロードして提出してください。

(4)教育功労賞は、支部長または人材育成センター長の推薦とする。研究功労賞は、維持会員または特別会員の代表者、支部長、または部会長の推薦による。学会活動功労賞及び国際功労賞は、支部長、部会長または常置委員会委員長の推薦による。推薦件数は、各賞とも1件とする。

#### 6. 問合せ先

公益社団法人 化学工学会  
表彰委員会担当  
TEL：03-3943-3527  
E-mail：soumu@scej.org

## 産学官連携センター

### グローバルテクノロジー(GT)委員会 2019年度第1回委員会

日時 2019年4月11日(木)15:00開始  
場所 名古屋都市センター特別会議室(金山南ビル14階)  
JR・名鉄・名古屋市営地下鉄名城線「金山」駅前(徒歩1分)

#### 講演会

15:00～15:50  
「省エネルギー型蒸留、蒸発装置の開発 – SOLSTEP-HP, SOLPICO-HP –」  
日本リファイン(株) 小田昭昌氏  
16:00～16:50  
「海外における化学工場建設の実際」  
東亜合成(株) 堀健太郎氏

#### 懇談会 17:30～19:30

ANAクラウンプラザホテルグランコート名古屋2階「ガーデンコート」  
詳細 下記のURLをご覧ください。  
<http://www.ach.nitech.ac.jp/~chemeng/GTHP/gttop.htm>

申込方法 懇談会参加の有無をご記入いただき、4月5日(金)までに下記連絡先のメールアドレス宛てにお申し込み下さい。講演会(参加無料)の直後、講師を囲むでの懇談会に参加される方は当日5,000円を申し受けます。

連絡先 GT委員会 庶務担当 南雲  
E-mail : [nagumo@nitech.ac.jp](mailto:nagumo@nitech.ac.jp)

### SCE・Net第20回総会および 記念講演会のご案内

化学工学会SCE・Netは第20回総会を下記により開催いたします。  
総会終了後、総会記念講演会および懇親会(第118回技術懇談会)を開催いたしますので、多数の皆様のご出席をお待ち申し上げます。

日時 2019年4月18日(木)

総会 13:00～15:00,  
記念講演会 15:00～16:20

場所 林野会館(東京都文京区大塚3-28-7)  
TEL : 03-3945-6871)  
地下鉄丸ノ内線茗荷谷駅下車 駅より北西に8分不忍通り沿い

#### 記念講演会

講師 (株)ファンクショナルフルイッド代表取締役  
化学工学会副会長 藤岡恵子氏  
演題「超低炭素化社会への現状と工学者の視点から考える未来」  
講演要旨 昨年12月のCOP24においてパリ協定の実施指針が採択され、地球温暖化対策の枠組みが2020年から始動する。日本は2030年度に26% (2013年度比)、2050年に80%の温室効果ガス (GHG) 削減目標を世界に対して公約・

表明し、超低炭素化社会の実現を目指している。化学産業は製造業全体の40%にあたるエネルギーを消費する最大のエネルギー多消費産業であり、2050年に向けて飛躍的な省エネルギーが求められる。また、化成品原料の脱炭素化やCO<sub>2</sub>資源化のような、技術の基盤に係る変革も必要になるだろう。一方で、化学産業は60年代の脱石炭、70年代石油危機以降の脱石油という大きなエネルギー政策の転換を経て、技術革新や国際競争力を強化してきたレジリエントな産業でもある。本講演では、ESG投資やRE100の拡大など経済や社会の変化も含めて急速に展開する世界の動向と脱炭素化に向けた日本の課題を紹介し、超低炭素化社会実現に貢献する工学の近未来の姿を考えてみたい。

懇親会 16:30～18:00

定員 60名(定員となり次第締め切らせて頂きます)

技術懇談会会費 講演会および懇親会参加 5,000円(講演会のみ参加の場合 2,000円)

当日、会場受付でお支払下さい。

申込み要領 4月6日までにメールで事務局([scenet@scej.org](mailto:scenet@scej.org))に申込み下さい。その際に講演会のみ参加の方はその旨記載下さい。

## 部 会 C T

### 第18回反好会 (反応工学部会若手会)講演会

主催 化学工学会反応工学部会

化学工学会第84年会(芝浦工業大学)の前日に反好会講演会を開催致します。企業若手社員と学生との交流の場として、「企業若手社員による会社紹介・業務内容紹介」も行います。研究講演、会社紹介・業務内容紹介ともに多くの皆様から好評いただいています。ぜひお気軽にお越しください。多くの方のご参加をお待ちしております。

日時 2019年3月12日(火)14:00～17:50  
場所 芝浦工業大学豊洲キャンパス内学生会場  
〒135-8548 東京都江東区豊洲3-7-5

#### プログラム

14:00～14:05 開会挨拶  
14:05～14:50 「燃料電池・水電解の電極触媒における材料機能システム設計」  
東京工業大学 科学技術創成研究院 田巻孝敬氏  
14:50～15:35 「反応速度論的アプローチを利用した触媒開発研究」  
東北大学 大学院工学研究科 高橋 厚氏  
15:35～15:50 休憩  
15:50～16:35 「ゼオライト膜を用いた膜反応器開発とその課題」  
早稲田大学 ナノ・ライフ創新研究機構

酒井 求氏  
16:35～17:45 会社紹介・業務内容紹介  
協和発酵バイオ(株)、(株)旭製作所、東芝メモリ(株)、(株)KOKUSAI ELECTRIC  
17:45～17:50 閉会挨拶  
18:00 懇親会(もみじ庵 豊洲本店)

#### 注意事項

★本講演会は無料でご参加いただけます。  
★懇親会にもぜひご参加ください。なお、懇親会は有料です(一般5,000円、学生3,000円)。  
★反好会HPからも情報をご覧いただけます。

申込締切 3月5日(火) 会場手配の都合上、お早めにお申し込みください。

申込・問合せ先 「講演会」および「懇親会」に参加をご希望の方は、「反好会HP」よりお申し込みください。

反好会HP <http://www2.scej.org/cre/wakate/index.html>

反好会代表幹事 百瀬 健(東京大学)  
E-mail : [momo@dpe.mm.t.u-tokyo.ac.jp](mailto:momo@dpe.mm.t.u-tokyo.ac.jp)

### 分離プロセス部会第13回講演会 及び見学会

主催 化学工学会分離プロセス部会  
共催 北関東地区化学技術懇話会

先端産業を支える金属資源の確保は資源の乏しい我が国にとって重要な課題です。東京オリ

ンピックで使われるメダルに都市鉱山からリサイクルされた金銀銅が用いられるように、我が国の『静脈産業』の活性化が求められています。この講演会及び見学会では、めっき廃液からのニッケルの分離回収に、新しい液-液接触方式であるエマルションフロー法に基づく抽出装置が実機として応用されている日本カニゼン(株)群馬工場での見学およびエマルションフロー法を利用した金属の抽出分離に関する講演を行います。皆様奮ってのご参加お待ちしております。

日時 2019年5月17日(金)14:00～16:30  
会場 日本カニゼン(株)群馬工場(群馬県太田市世良田町3023)  
<http://www.kanigen.co.jp/access02.php>  
東武伊勢崎線 太田駅に13:30までに集合後、送迎バスで移動

#### プログラム

14:00～14:10 開会挨拶  
14:10～14:20 日本カニゼン(株)群馬工場紹介  
14:20～15:20 工場見学  
15:20～15:30 休憩  
15:30～16:00 講演「エマルションフロー法によるレアメタルの抽出分離」  
(国)日本原子力研究開発機構 先端基礎研究センター 研究主席 長縄弘親氏  
16:00～16:20 講演「エマルションフロー溶媒抽出法を利用した無電解ニッケルめっき液のリサイクル技術」

日本カニゼン(株) 齋木幸則氏  
16:20～16:30 質疑応答, 閉会挨拶

参加費 部会員 3,000円, 化学工学会員 4,000円,  
非会員 10,000円, 学生会員 1,000円 (消費税含む)  
会費は現地にてお支払いください。

定員 30名  
申込締切 2019年4月26日(金)  
申込・問合せ先 参加をご希望の方は(1)氏名,  
(2)所属, (3)連絡先Email, (4)参加資格(部会員・化学工学会員・非会員・学生等)を明記の上,  
下記連絡先にEmailにてお申込み下さい。

なお, 日本カニゼン(株)様の同業者様のご見学をご遠慮いただく場合もございます。  
鹿児島大学工学部環境化学プロセス工学科  
二井 晋  
E-mail: niisus@cen.kagoshima-u.ac.jp  
TEL: 099-285-8366

## 地 域 C T

### ▶▶ 東 北 支 部

#### 第62回プロセス設計技術講演会 ・見学会

主催 化学工学会東北支部  
共催 宮城化学工学懇話会, (一財)青葉工学振興会・持続工学研究会, 日本LCA学会地域産業共生研究会, 化学工学会社会実装学研究会

日時 2019年3月29日(金)  
会場 見学会および講演会(13:30～)  
日本製紙(株)石巻工場  
(〒986-8555 宮城県石巻市南光町2-2-1)  
集合場所等 JR石巻駅改札口に13時集合。見学会から講演会までの移動はタクシーに分乗する予定。

内容 エネルギーとバイオマスとの関係性および相互利用は今後の化学産業において極めて重要です。特に木質バイオマスはパルプ産業での黒液の利用による全体利用に加え, 最近CNFといった新しい材料創出にも極めて積極的です。こうした現状を踏まえ, 石巻工場でのパルプや紙の生産ラインに加え, 黒液のエネルギー利用などに関連する部分, また古紙利用に係る部分などを見学します。また, 循環型資源であるバイオマス資源のエネルギー利用や経済性, そしてCNFの展望など幅広くご講演いただく予定です。さらに, 震災から力強く立ち上がった石巻工場のたくましさも紹介いただきます。

- (1)中谷 隼氏(東京大学大学院工学系研究科)  
「物質フローと技術から見るプラスチック資源循環」
- (2)五十嵐圭日子氏(東京大学大学院農学生命科学研究科)  
「サーキュラーバイオエコノミー時代のセルロース利用: マルチスケールとメソスコピック」
- (3)河崎雅行氏(東北大学大学院農学研究科)  
「日本製紙のCNF開発状況」  
懇親会(18:00～) 未定

詳細は決定次第, 東北支部のホームページ(<http://www.che.tohoku.ac.jp/scej/>)に掲載いたしますのでご参照ください。

参加費 主催・共催団体会員: 無料, 非会員: 1,000円, 学生: 無料  
ただし, 講演会会場の移動費として一人当たり500円程度徴収させていただく可能性があります。

懇親会費 5,000円  
申込締切 3月22日(金)  
申込方法 参加者のお名前, 所属, 連絡先 (E-mail, TEL等), 懇親会の出席を記入の上, E-mailまたはFAXにて下記連絡先までお申し込み下さい。

連絡先 東北大学大学院工学研究科 福島康裕  
TEL: 022-795-5869 FAX: 022-795-4130  
E-mail: fuku@sis.che.tohoku.ac.jp

得していただける内容となっています。初めての方から実践力をつけたい方に最適です。  
なお, 修了された方には, 修了証書を発行致します。

会場 名古屋市工業研究所(名古屋市熱田区六番3-4-41)  
地下鉄名港線(金山から名古屋港行)六番町下車, ③番出口より徒歩1分  
第1クールおよび, 第3～5クール: 第4会議室  
第2クール: 第2会議室

### ▶▶ 東 海 支 部

#### 第43回 基礎化学工学演習講座

主催 (公社)化学工学会東海支部  
共催 静岡化学工学懇話会, 東海化学工業会, (公社)日本分析化学会中部支部, (公社)日本化学会東海支部, (一社)資源・素材学会, (公社)高分子学会東海支部, (一社)日本原子力学会中部支部, (一社)廃棄物資源循環学会, 日本溶剤リサイクル工業会, 日本機械学会東海支部, (一社)日本エネルギー学会, (公社)化学工学会産学官連携センターグローバルテクノロジー委員会  
協賛 名古屋市工業研究所, (公財)名古屋産業振興公社, (公社)日本水環境学会, 電気学会東海支部, 粉体工学会, (公財)中部科学技術センター, 電気化学会東海支部, 有機合成化学協会東海支部

開催日時 第1クール: (1～3日目)  
2019年5月22～24日(水～金)9:15～16:45  
第2クール: (4～6日目)  
5月29～31日(水～金)9:15～16:45  
第3クール: (7～9日目)  
6月19～21日(水～金)9:15～16:45  
第4クール: (10～12日目)  
7月3～5日(水～金)9:15～16:45  
第5クール: (13～15日目)  
7月17～19日(水～金)9:15～16:45

本講座は, これまで化学工学を学ぶ機会がなく, 新たに化学工学の知識を身につけようとする方々を対象に開催します。エネルギー管理士, 高圧ガス製造保安責任者などの各種国家試験資格を取得するための基礎講座として, 化学工学修士(基礎)資格取得のため, 社内教育の一環としても役立てていただけるような構成になっています。

初めて化学工学を学ぶ方を対象とした第1クールでは, 基礎から代表的な単位操作まで化学工学の全てを学べるようにしました。基礎となる第1～2クールは, 連続3日間ごとでお申込みいただく一方, 応用編となる第3～5クールは講義単位でのお申込みになります。化学工学の基礎をすべて受講されたい方, 特定の講義のみ受講されたい方に対応しています。講義の内容やキーワードおよび講義内容のレベルチェックもホームページにて詳しく紹介していますのでご覧ください。

講師には学会・業界の第一線で御活躍の方々を迎えて, 豊富な事例に基づく演習を通じて修

定員 第1, 第3～5クール: 25名, 第2クール: 60名(いずれも定員になり次第締切)  
・企業向けの講座ですが, 学生が受講されても構いません。ただし, 定員を超えた際には企業の方を優先させていただきます。  
・第3～5クールは各講義最少催行者数を5名とし, 開催しない場合があります。

#### 参加費(消費税を含む)

	第1～2 クール	第3～5 クール
日 数	3日間	1講義につき
正会員	¥25,000	¥10,000
法人会員会社社員	¥30,000	¥15,000
会員外	¥60,000	¥30,000
学 生	¥10,000	¥5,000

\*共催・協賛団体会員も本会会員価格に準じます。

#### テキスト

\*第1クールで利用するテキスト: 『基礎化学工学』(共立出版)定価3,000円  
\*第2～5クールで利用するテキスト: 『改訂第3版 化学工学』(朝倉出版)定価2,500円  
本講座を受講する方に限り, 各クールで利用するテキストを1,000円(税込)にて特別販売いたします。テキストをお持ちでない場合は, 参加費にテキスト代1,000円を加えてお申し込み下さい。

申込方法 化学工学会東海支部ホームページにアクセスし, 「参加申込フォーム」からお申込み下さい。

<http://scej-tokai.org/>

後日, 参加証とテキストをお送り致します。参加証は, 当日ご持参下さい。

送金方法 現金書留または銀行振込み  
みずほ銀行名古屋支店 普通預金 No. 1055521

〒460-0808 名古屋市中区栄3-1-1  
「公益社団法人化学工学会東海支部」

ゆうちょ銀行名古屋00880-7-5640

〒460-0808 名古屋市中区栄3-1-1  
「公益社団法人化学工学会東海支部」

#### 問合せ先

(公社)化学工学会東海支部  
<http://scej-tokai.org/>

プログラム

	月 日	時 間	講 義	内 容	講 師
第1クール	第1日 5月22日(水)	9:15～16:45	化学工学 の入門	単位と次元(I), プロセス変数, 状態方程式(I)	静岡大学 立元雄治氏
	第2日 5月23日(木)	9:15～16:45		物質収支の基礎 複雑なプロセスの物質収支, エネルギーの基礎	静岡大学 前澤昭礼氏
	第3日 5月24日(金)	9:15～16:45		反応系のエネルギー収支 化学プロセスの基礎, 化学プロセスの計算	静岡大学 福原長寿氏 静岡大学 武田和宏氏
第2クール	第4日 5月29日(水)	9:15～12:30 13:30～16:45	化学工学 基礎 ・拡散	単位と次元(II), 状態方程式(II) 収支, 拡散, 物質移動, 燃焼計算	名古屋工業大学 名誉教授 多田 豊氏 日油(株) 押川貴成氏
	第5日 5月30日(木)	9:15～12:30 13:30～16:45		流動	流体の流れと計測, 円管内の流れ, 流体と輸送 流体輸送機器の設計と実際
	第6日 5月31日(金)	9:15～12:30 13:30～16:45	伝熱	伝導伝熱, 対流伝熱, 放射伝熱 熱交換器などの設計と実際	三重大学 西村 顕氏 新日鐵住金(株) 杉森 薫氏
第3クール	第7日 6月19日(水)	9:15～12:30 13:30～16:45	蒸留	気液平衡関係, 相対揮発度 McCabe-Thiele作図, 特殊蒸留	名古屋工業大学 森 秀樹氏 日本リファイン(株) 小田昭昌氏
	第8日 6月20日(木)	9:15～12:30 13:30～16:45		ガス吸収	気液平衡, 吸収, 膜分離 吸収装置の設計と実際
	第9日 6月21日(金)	9:15～12:30 13:30～16:45	抽出 ・吸着	抽出・吸着の基本原理と応用 抽出・吸着装置の設計と実際	鹿児島大学 二井 晋氏 三菱ケミカル(株) 石羽 恭氏
第4クール	第10日 7月3日(水)	9:15～12:30 13:30～16:45	調湿 ・乾燥	絶対湿度, 冷却減湿操作, 定率乾燥 乾燥装置の設計と実際	岐阜大学 板谷義紀氏 (株)大川原製作所 脇屋和紀氏
	第11日 7月4日(木)	9:15～12:30 13:30～16:45		固液分離	沈降分離, 濾過, 晶析の基本原理と応用 固液分離装置の設計と実際
	第12日 7月5日(金)	9:15～12:30 13:30～16:45	粉粒体 操作	粒子・粉体層の性質, 粒子生成 粉粒体装置の設計と実際	名古屋大学 向井康人氏 新東工業(株) 鈴木 崇氏
第5クール	第13日 7月17日(水)	9:15～12:30 13:30～16:45	攪拌 ・混合	攪拌槽の構成, 混合性能, スケールアップ, 異相系の攪拌 攪拌・混合装置の設計と実際	名古屋工業大学 加藤禎人氏 東亜合成(株) 鈴木日和氏
	第14日 7月18日(木)	9:15～12:30 13:30～16:45		反応工学	反応速度, 反応器の分類と性能, 生物反応速度 反応装置の設計と実際
	第15日 7月19日(金)	9:15～12:30 13:30～16:45	プロセス 制御	プロセスと制御, 動特性, 過渡応答, 周波数応答 プロセス制御装置の設計と実際	名古屋工業大学 米谷昭彦氏 三菱ケミカル(株) 橋本祐樹氏

参加の際の注意

(注1) 関数電卓を使用しますので必ずご持参ください。

(注2) 昼食時間の一部(12:30～12:50)を講師への質問時間としてご利用いただけます。

## 関 西 支 部

### 第26回化学安全講習会

主催 日本化学会近畿支部  
共催 化学工学会関西支部 等

日時 2019年5月13日(月)～14日(火)  
会場 大阪科学技術センター8階小ホール(13日), 大ホール(14日)(大阪市西区鞆本町1-8-4)  
(交通) 地下鉄四つ橋線「本町」駅下車, 25番・28番出口を北へ約7分, または同御堂筋線「本町」駅下車, 2番出口を西北へ約

10分  
第1日目・13日(月)10:00～16:00  
1. リスク評価と安全対策 - 化学プラントの事故の教訓を踏まえて -  
(近畿化学協会化学技術アドバイザー/元住友化学)安田 稔  
2. 世界の化学品規制の潮流 ～アジア(中・韓・台)・日本・欧州・米国を中心に～  
(住化分析センター)林まき子  
3. 高圧ガスの危険性と安全対策  
(近畿化学協会化学技術アドバイザー, 技術士/元新日本理化)伊藤 博  
第2日目・14日(火)10:00～16:30  
4. 実験で紹介する静電気安全対策の基礎  
(SL経営)蒲池正之介  
5. 事故事例から考える実験室・作業場の安全管

理 (阪大安全衛生管理部)山本 仁  
6. 実験室・作業場における化学物質のリスクアセスメント (阪大安全衛生管理部)山本 仁  
参加申込締切 4月24日(水)  
参加費 共催団体会員32,000円, 大学官公庁所属20,000円, 学生8,000円, 非会員42,000円  
参加申込方法 詳細は<https://kinki.chemistry.or.jp/csjevent/anzen19.html>をご参照ください。  
申込先 日本化学会近畿支部  
〒550-0004 大阪市西区鞆本町1-8-4 大阪科学技術センター6階  
TEL: 06-6441-5531 FAX: 06-6443-6685  
E-mail: csjevent@kinki.chemistry.or.jp

## 中国四国支部

### 中国地区化学工学懇話会 平成31年度 総会・記念講演会 のご案内

主催 中国地区化学工学懇話会, 化学工学会中国四国支部

日時 2019年4月19日(金)14:30~19:20  
場所 ホテル広島ガーデンパレス  
〒732-0052 広島市東区光町1-15-21  
TEL: 082-262-1122  
JR広島駅新幹線口より徒歩5分  
<http://www.hotelgp-hiroshima.com/>



#### プログラム

1. 総会 (14:30~15:10)
2. 記念講演会 (15:20~17:10)
  - 1) 15:20~16:10  
「噴霧乾燥を用いた機能性食品粉末の作製」  
香川大学農学部応用生物科学科 吉井英文氏
  - 2) 16:20~17:10  
「産総研・機能化学研究部門での取り組み：機能性化学品の製造から評価まで」  
(国研)産業技術総合研究所 材料・化学領域  
機能化学研究部門 北本 大氏
3. 交流会 (17:20~19:20)

交流会参加費 4,000円(当日お支払い下さい)

参加申込締切 2019年4月5日(金)

申込方法 参加者氏名, 勤務先, 所属, 交流会参加の有無を明記し, 下記宛にE-mailまたはFAXでお申し込み下さい。

申込先 〒739-8527 広島市鏡山1-4-1 広島大学工学部化学工学講座 中国地区化学工学懇話会

TEL: 082-424-7718 FAX: 082-424-5494

E-mail: [ysasa@hiroshima-u.ac.jp](mailto:ysasa@hiroshima-u.ac.jp)

## 九州支部

### 第56回化学関連支部合同九州大会・ 外国人研究者交流国際シンポジウム

主催・共催 日本化学会九州支部ほか7化学関連支部

会期 2019年7月13日(土)9:00~17:00(予定)  
会場 北九州国際会議場(北九州市小倉北区浅野3-9-30)

[交通]JR小倉駅より徒歩5分

発表申込期間 3月1日(金)~4月12日(金)

予稿原稿締切 5月17日(金)

発表形式 一般・学生発表はポスター発表のみ。  
ほか特別講演(1件), 依頼講演(8件, 各支部推薦)

発表申込方法 大会HP (<https://godo-kyushu.jp/godo/index.html>) から, 指示に従って, 以下の申込必要事項をお送り下さい。お申込み後に, 受理通知のメールをお送りします。通知が無い場合は, 日本化学会九州支部事務局 ([qsibutcf@chem.kyushu-univ.jp](mailto:qsibutcf@chem.kyushu-univ.jp)) にお問い合わせ下さい。

申込必要事項 1) 発表分野, 2) 発表題目, 3) 発表者所属機関の略称, 4) 発表者氏名(登壇者の前に✓印), 5) 学生の場合は, 研究室名, 指導教員の氏名とE-mailアドレスも記入, 6) 発表者の所属学協会(申込中を含む, 複数可), 7) 発表者の学年・職

なお, 発表分野は下記のいずれかをご指定下さい。

(1)物理化学, (2)分析化学, (3)無機化学, (4)電気化学, (5)有機化学, (6)高分子・繊維化学, (7)生物化学・農芸化学, (8)化学工学

予稿原稿(約800字図表を含む)の執筆要項およびプログラムは, 大会HP (<https://godo-kyushu.jp/godo/index.html>) で公開します。執筆要項に従って作成し, PDFファイルに変換したものを大会HPに記載の方法で投稿して下さい。

注1: 例年行われていた外国人交流セッション(ポスター発表)は各発表分野での発表に変更いたします。積極的な参加をよろしくお願いいたします。

注2: 大学院進学などでメールアドレス変更の場合は, 大会HPマイメニューより, ご変更下さい。

注3: 例年, 多くの修士1年生にご発表いただきますが, 申込内容等の不備(連絡先間違いや単著での申込み)が多くあります。指導教員の先生におかれましてはご

指導のほど, お願い申し上げます。  
参加費・発表登録費 聴講のみの参加費は無料。  
発表登録費は, ポスター発表1件につき3,000円(予稿集1冊含む。当日受付にて, お支払い下さい)。聴講のみの参加者で予稿集をご希望の方は受付にてお求め下さい(1冊:1,500円)。

特別講演・依頼講演会[順不同]

特別講演 日本化学会九州支部推薦

Dongho Kim (Yonsei University)

「Hückel, Möbius, Baird and 3-Dimensional Aromaticity in Various Expanded Porphyrinoids」

依頼講演 高分子学会九州支部推薦

菊池裕嗣(九州大学)

「高分子と液晶における部分と全体」

依頼講演 繊維学会西部支部推薦

春藤淳臣(九州大学)

「ナノファイバー分散系における空間不均一性とそれに基づく材料設計」

依頼講演 日本農芸化学会西日本支部推薦

石野園子(九州大学)

「超好熱性アーキアに見出された新規DNA修復酵素」

依頼講演 化学工学会九州支部推薦

水本 博(九州大学)

「中空糸内三次元培養を利用した高機能肝組織の構築」

依頼講演 日本分析化学会九州支部推薦

吉田秀幸(福岡大学)

「ルテニウム錯体化学発光法によるアミン類の分析」

依頼講演 電気化学会九州支部推薦

吉本信子(山口大学)

「マグネシウム二次電池の可能性と課題」

依頼講演 有機合成化学協会九州山口支部推薦

平井 剛(九州大学)

「擬天然物を標的とする有機合成」

依頼講演 日本化学会九州支部推薦

山田鉄兵(九州大学)

「超分子科学と電気化学の融合による熱電変換～分子科学的熱化学電池～」

懇親会 7月13日17:30(予定) AJO レストラン&バーにて。

会費: 4,000円(当日, 懇親会会場にてお支払い下さい)。

問合先 〒819-0395 福岡市西区元岡744 九州大学 W1-A920

第56回化学関連支部合同九州大会実行委員会事務局(実行委員長: 古田弘幸(九州大学))

E-mail: [qsibutcf@chem.kyushu-univ.jp](mailto:qsibutcf@chem.kyushu-univ.jp)

TEL&FAX: 092-802-4130

## 求人

### ☆大阪大学大学院基礎工学研究科物質創成専攻 募集☆

募集人員: 教授1名

専門分野: 触媒化学

応募資格: 博士号取得者

応募締切: 2019年4月26日(金)必着

問合せ先: 〒560-8531 大阪府豊中市待兼山町1-3

大阪大学大学院基礎工学研究科化学工学領域 西山憲和

TEL: 06-6850-6255

E-mail: [nisiyama@cheng.es.osaka-u.ac.jp](mailto:nisiyama@cheng.es.osaka-u.ac.jp)